

～10月から12月までの行事～

大崎耕土校外学習（探究 Jr.Ⅲ）中学3年
【9/30】

9月30日（月）中学3年生が総合的な学習の時間の活動として、A～Eの5コースに分かれて「大崎耕土学習」を行いました。校外学習を通して大崎耕土に関する興味関心を高め、フィールドワークを通して様々な情報を収集するとともに、その中から課題を見だし科学的な視点で解決する態度を育成するのを目的として実施されました。

A【水生生物調査】

赤とんぼ・水路の生きもの・化女沼自由広場生きもの調査



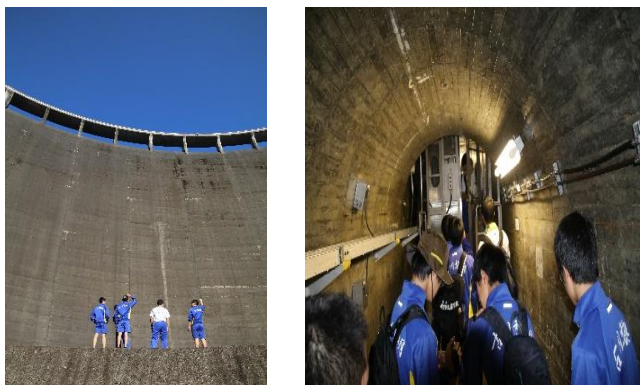
B【食に関する歴史と文化】

美里町「花野果市場」見学，農家レストラン「野の風」講話・餅つき体験・鎌田記念ホール展示室見学，吉田川サイフォン見学・元禄潜穴・越流堤見学



C【水管理】

大堰頭首工・内川遊歩道，鳴子ダム・操作室・天端見学，ダム直下流見学



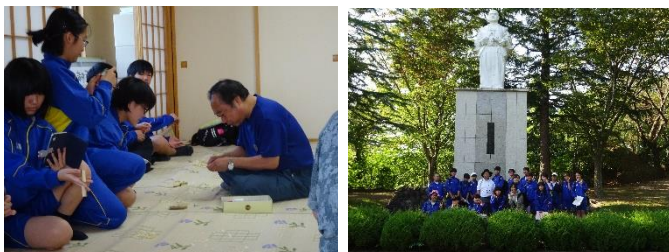
D【居久根聞き取り・生物調査】

西大崎地区公民館，西大崎地域居久根見学・調査



E【歴史・文化】

竹細工体験岩出山竹工芸館，内川・岩出山城址・城下見学



出前実験講座

小学生向けロボットプログラミング【10/17】

10月17日（木）に、本校の中高自然科学部生徒21名が講師役を務め、市内の小学校コンピュータクラブ35名の児童を対象に、ロボットプログラミング講座を実施しました。全体を10グループに分け、それぞれロボットを制御するプログラミングを体験してもらいました。はじめて体験する児童も多いようでしたが、ねらい通りにロボットを動かすため、必要な動作の組み合わせに苦労しながらも、みな楽しそうにプログラミングに取り組んでくれました。今回の講座で様々な反省点もありましたが、中高生は多くのことを学ぶことができました。今後の活動に生かしていきたいと思います。



大崎耕土課題研究発表会【10/27】

大崎耕土課題研究プロローグ講演会（5月14日）～校外学習（6月24日）を経て、10月27日に、1学年生徒238名が標記の発表会を実施しました。研究発表は植物・生物の多様性、居久根の調査、食文化の特徴などをテーマに、49班に分かれて進められ、その成果をまとめたポスターを活用しながら口頭発表をいたしました。当日は、中学校3年生の105名の生徒も聴講し、それぞれの発表に質問や感想を述べました。大崎市の世界農業遺産推進課の方々にもアドバイザーとして発表を見ていただき

「居久根を所有する家庭の方々、居久根文化を誇りに思っていることが調査を通じて引き出されたことに嬉しさを感じた」という趣旨のコメントをいただきました。課題研究を行った1学年の生徒からは「私たちの地元でこのような誇れる世界農業遺産があることに今回の学習を通じて気づくことができた」「機会があれば、大崎耕土についての研究をもっと深めていきたい」といった感想も寄せられました。



公開授業研究会（SSH×ICT）【11/7】

11月7日（木）に、公開授業研究会（SSH×ICT）を開催しました。「探究力を育てる授業づくり～ICT教育の推進をとおして～」を研究テーマとし、ICTの利活用、生徒の「課題設定力」「論理的・批判的思考力」「コミュニケーション力」「情報活用能力」の育成を視点とした授業を公開いたしました。SSH運営指導委員をはじめ、県内外・各方面の方々にご参観いただき、貴重なご意見をいただくことができました。また、全体会の基調講演では、株式会社EdLog代表取締役社長で文部科学省初等中等教育局視学委員でもある中川哲氏に「新時代の学びを支える教育の情報化について」を演題としてご講演をいただきました。これからの社会で生きていく子どもたちがどのような力をつけていく必要があるのか、そのためにどのような教育がなされるべきなのか、改めて考える貴重な講演となりました。



タイ王国海外研修【12/15～12/24】

2019年12月15日～24日、「SSHタイ王国海外研修」を実施し、本校の2年生3名、1年生1名の4名が参加しました。今回の研修プログラムは2つです。一つ目は提携校のプリンセス・チュラポーン・サイエンス・ハイスクール・サトゥン校（PCSHSサトゥン校）での交流、二つ目はPCSHSムクダハン校で開催された「TJ-SIF2019」への参加です。

PCSHSサトゥン校との交流では、校内で実験や実習を含む授業（生物、数学、外国語）を受けたり、植物の植生の研究調査を行ったりしました。また、サトゥンのジオパークや漁業研究開発センター等を訪問し、タイの地形や水性生物の保護や研究に関する説明を聞きながら、科学を通じた交流を深めました。バディとして付き添ってくれたサトゥン校の生徒は2020年1月下旬から来日し、本校で交流する予定です。

TJ-SIF2019は、タイに12校あるPCSHSやタイの高校、PCSHSと提携している日本のSSH校、日本の高専から集った生徒・学生が、日頃の研究について英語で口頭発表やポスターセッションを行い、科学研究の交流を行うイベントです。今回は、PCSHSムクダハン校を会場に、タイ・日本併せて300人あまりの生徒・学生が参加しました。本校の生徒は、「Dagik Earth」「Making autonomous type drive robot and development of program」の2題の研究について発表・質疑応答を行いました。また、校外でのフィールドワーク（5方面に分かれ、さらにその中でいくつかのグループで行動しました）も行われ、そこで得られた情報をもとに、ブレインストーミング、ディスカッションで自分たちの考えをまとめ、全体にプレゼンテーションを行いました。



今後のSSH行事

1/17	第2回SSH科学講演会（本校）
1/24～25	東北地区サイエンスコミュニティ研究校発表会（山形県立東桜学館中高校）
1/30	特別授業「言偏」（本校）
1/31～2/5	PCSHSサトゥン校来日プログラム（本校）
2/4	黎明サイエンスフェスティバル（本校）